
幹事会だより No.7

平成18年4月19日発行
副会長(科学者コミュニティー担当)
浅島 誠

今回は、第148回総会(4月10日(月)~12日(水))中に開催された第11回~第13回幹事会の概要について御報告いたします。

御報告に入る前に、お知らせですが、平成18年7月26日(水)午前中に連合部会又は臨時総会の開催を、午後には部会の開催を予定しておりますが、詳細はのちほどメールにてお知らせいたします。

また、来年4月総会の日程についても、近々、決定いたしたく、複数の選択肢を示して御意見を伺う予定にしております。

第11回(4月10日(総会1日目)16時30分~)

- 1 非公開審議事項として学術関係諸機関への委員候補者の推薦について審議されました。次に、委員会等へ委嘱する委員候補者について、審議が行われました。今回は、機能別委員会である「科学と社会委員会科学力増進分科会」の委員の追加、「国際委員会」の分科会 小分科会の委員の決定、「分野別委員会」及び「分野別委員会分科会」の委員の決定 追加、課題別委員会である「学術とジェンダー委員会」の委員の追加並びに「科学者コミュニティーと知の統合委員会」の委員の決定が行われました。
- 2 前回幹事会以降の諸報告が行われました。
- 3 審議事項について、審議が行われました。
 - (1) 「科学 技術の発展のための知覚情報取得技術の強化に関する検討委員会」の設置については課題別委員会として提案されましたが、分野別委員会の分科会として設置することに修正されました。
 - (2) 「科学者の行動規範に関する検討委員会」からの提案である「科学者の行動規範(暫定版)」及び「科学者の自律的行動を徹底するために」について審議され、翌日の総会での議論を経て必要な修正を行った後、対外的に公表することが了承されました。

(3) 分野別委員会の分科会（第3部関係9分科会、ただし複数の委員会にまたがるものがあるので実数は8分科会）及び小委員会（第3部関係2小委員会）の設置並びに分科会の名称変更（第2部関係5分科会及び第3部関係3分科会、ただし同じく実数は2分科会）に伴う「分野別委員会運営要綱の一部改正」が決定されました。なお、他に第3部関係で2分科会の設置が提案されましたが保留となりました。

(4) (3)において国際委員会の分科会と兼ねている分野別委員会の分科会が名称変更されたことに対応するため及び共同主催国際会議に係る小分科会のうち平成17年度開催に係るものを廃止し、平成19年度開催に係るものを設置するための「国際委員会運営要綱の一部改正」が決定されました。

(5) 科学新聞社等が主催するシンポジウム「知識社会とは何か？ - 工業社会から知識社会へ25年後の日本の姿 - 」の開催について、日本学術会議が共催に加わること及びこのシンポジウムに際して募集される懸賞論文の審査会に日本学術会議会長が審査委員として加わることについて、了承されました。

第12回ウ タント記念講演について日本学術会議と国連大学が共同主催することが、了承されました。

「政府統計の作成 公開方策に関する委員会」が主催する「政府統計の改革に関するシンポジウム－変革期にある政府統計への提言」、「数学委員会」が主催するシンポジウム「礎（いしずえ）の学問：数学 数学研究と諸科学 産業技術との連携」及び「土木工学 建築学委員会」が主催する「キャビテーションに関するシンポジウム（第13回）」の開催について、それぞれ了承されました。

決定されました講演会やシンポジウムなどの詳細は、日本学術会議ホームページの下記のアドレスを御覧いただき、是非多数の方に御参加いただきますよう、お願いいたします。

(http://www.scj.go.jp/ja/info/kokai_shinpo/index.html)

(6) 国際会議「ヒートアイランド対策国際ワークショップ」を日本学術会議が後援することについて、了承されました。

4 その他事項として西ヶ廣局長から米国科学アカデミー（NAS）との協議について報告がありました。

黒川会長から次回の総会までの間に会員相互の意思疎通を図るための会合を開いてはどうかという意見が出され、平成18年7月26日（水）午前10時に連合部会、または臨時総会を開催し、午後1時に分野別委員会を開催することと

しました。これに伴い、7月27日開催予定であった幹事会は7月26日16時～に変更となりました。

第12回(4月11日(総会2日目)16時45分～)

- 1 総会1日目の午後及び2日目午前に行われた部会について、各部からの審議状況報告がありました。
- 2 審議事項について、審議が行われ、「会長候補者推薦委員会設置要綱」と「会長の互選に関する幹事会決定」が決定されました。また保留になっていた第3部関係の2分科会の設置が決定されました。
- 3 その他、大垣副会長から会員と連携会員の役割について分かりやすく情報を周知する必要性や学協会との新しい連携のあり方と工夫等について意見が出されました。

第13回(4月12日(総会3日目)15時30分～)

- 1 非公開審議事項として、機能別委員会である「国際委員会 AASSREC 等分科会」の委員の追加、「分野別委員会」、「分野別委員会分科会及び同小委員会」の委員の追加 決定、課題別委員会である「エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会」の委員が決定されました。
- 2 審議事項について、審議が行われました。
 - (1) 分野別委員会の分科会(第3部関係1分科会)及び小委員会(第3部関係1小委員会)の設置に伴う「分野別委員会運営要綱の一部改正」が決定されました。
 - (2) 分野別委員会 分科会等の組織と運営について提案があり、分野別委員会の在り方について、その分野の執行部と位置づけること若しくは委員会が多人数となる場合には拡大役員会で運営を担うこと等多様な在り方がありうることや、特任連携会員制度の運用等について意見交換が行われました。
 - (3) 20の学協会を新たに日本学術会議協力学術研究団体とすることが承認されました。
 - (4) 平成18年度各地区会議事業計画について承認されました。本年度も北

海道地区外 5 地区において学術講演会等が行われます。

- (5) 「環境学委員会」が主催する「環境学の領域と展望」シンポジウムの開催について承認されました。詳細につきましては日本学術会議ホームページの下記のアドレスを御覧いただき、是非多数の方に御参加いただきますよう、お願いいたします。

(http://www.scj.go.jp/ja/info/kokai_shinpo/index.html)

- 3 前日の幹事会で大垣副会長から提起された課題について、再度、意見交換が行われ、19期までであった「財務委員会」の機能を幹事会若しくは幹事会附置の委員会を置いて担うことが検討されました。

平成18年7月26日(水)午後に開かれる予定であった分野別委員会は部会に変更となりました。

(完)